

第5回（平成30年第2回） 東京医科大学病院 監査委員会議事要旨

- 1 日時：平成30年12月7日（金）午後6時30～8時20分
- 2 場所：東京医科大学病院 本館6階 特別会議室
- 3 出席者：【委員】児玉 委員長、池谷 委員、木村 委員、坂本 委員、野口 委員、長谷川 委員
【病院側】三木 病院長、菅野 医療安全管理責任者、内野 医療機器安全管理責任者、前 医薬品安全管理責任者、渡邊 感染制御部部長、梶 医療安全管理責任者、高橋 医療安全管理室講師、服部 臨床工学部技士長、犬伏 薬剤部主査、藤澤 事務部部長、龍崎 総務課課長

4 議題

- (1) 三木 病院長挨拶
 - ・病院側出席者の変更について
- (2) 児玉 委員長挨拶
- (3) 報告事項および監査について
 - ①平成30年度上半期 医療安全管理報告
 - ②平成30年度上半期 医薬品安全管理報告
 - ③平成30年度上半期 医療機器安全管理報告
 - ④感染制御・対策の現状

5 監査項目

- ①菅野 医療安全管理責任者より平成30年度上半期のインシデント、院内病因死因検討会、医療事故調査制度検討事例、院内医療安全管理体制、医療法施行規則第1条の11第1項第3号に基づく研修会、医療安全週間（患者誤認防止活動）と医療安全文化の確立（異業種安全文化講演会）の報告。
- ②前 医薬品安全管理責任者より平成30年度上半期の処方疑義照会に伴うインシデント報告状況、医薬品副作用報告状況と薬剤関連インシデント事例と事例を受けての取り組み（輸液製剤の安全管理とアナフィラキシー発症時の対応）の報告。

- ③内野 医療機器安全管理責任者より、医療機器の安全管理体制と医療機器安全管理責任者の責務についての報告。服部 臨床工学部技士長より平成 30 年度上半期の研修実施状況、保守点検状況、安全性情報の収集・周知方法、不具合等の改善の方策、安全面に配慮した医療機器の採用状況、誤作動・故障などの現状と対応、保守点検業務と安全管理における臨床工学技士業務の報告。
- ④渡邊 感染制御部部長より当院の感染制御・対策の現状の報告。

6 監査結果

- 1 医療安全管理体制全体についての報告は、院内での症例検討等も適切に行われている状況が伺え、詳細かつ適切だった。ただ、3b 以上の重大な事例については、患者さんを含めて家族等とのコミュニケーションの状況についてもう少し掘り下げた報告をいただいた方が分かりやすいとの意見があった。
- 2 医療事故調査制度の活用に関して、内部での一層の検討を踏まえて。積極活用に向けて努力していただきたい。
- 3 医薬品の安全管理等に関して、点滴袋の穴のような比較的身近なところの管理体制についても、出荷時の製品としての安全性の問題と病院の管理体制の問題が交錯している中で、引き続き病院の管理体制を強化しながら対応を続けていただきたい。
- 4 昨今話題になっているアナフィラキシーへの対応体制の整備に関して、現在、救急カートの整備も含めて適切である。
- 5 医療機器の安全管理等に関して、人工呼吸器、心電図モニターや血液浄化装置など、人の生命に直結するような機器の管理を行っている中で、機種の統一化や経年劣化に対応するコストの問題など運営の課題も含めて、今後も安全のために教育訓練を併用しながら全体の安全対策を進めてほしい。
- 6 感染制御に関して、ICT や AST などを充実したスタッフで進められていることが理解できたので、今後もこの活動を推進していただきたい。
- 7 今回の監査の全体を通じて、是正措置を要する指摘はない。

7 委員長より総評

全体を通して、医療安全の監査委員会に適正な報告をいただいたと思いますので、今後も院内の体制整備やシステムの整備を進め、引き続き監査委員会に報告をいただきたいと思います。

8 配付資料

- (1) 監査委員会委員名簿
- (2) 平成 30 年度上半期 医療安全管理報告
- (3) 平成 30 年度上半期 医薬品安全管理報告
- (4) 平成 30 年度上半期 医療機器安全管理報告
- (5) 感染制御・対策の現状

記録者：総務課 鈴木

平成 30 年 12 月 7 日

委員長

見玉安司

署名委員

坂本寛枝

署名委員

池谷みえみ